

令和5年6月16日 資料No.16
建設常任委員会

品川駅周辺街づくり担当

有楽町・銀座・新橋周辺地区地区計画の変更（原案）について

有楽町・銀座・新橋周辺地区の街づくりについて

1 計画地の位置・地区の概要

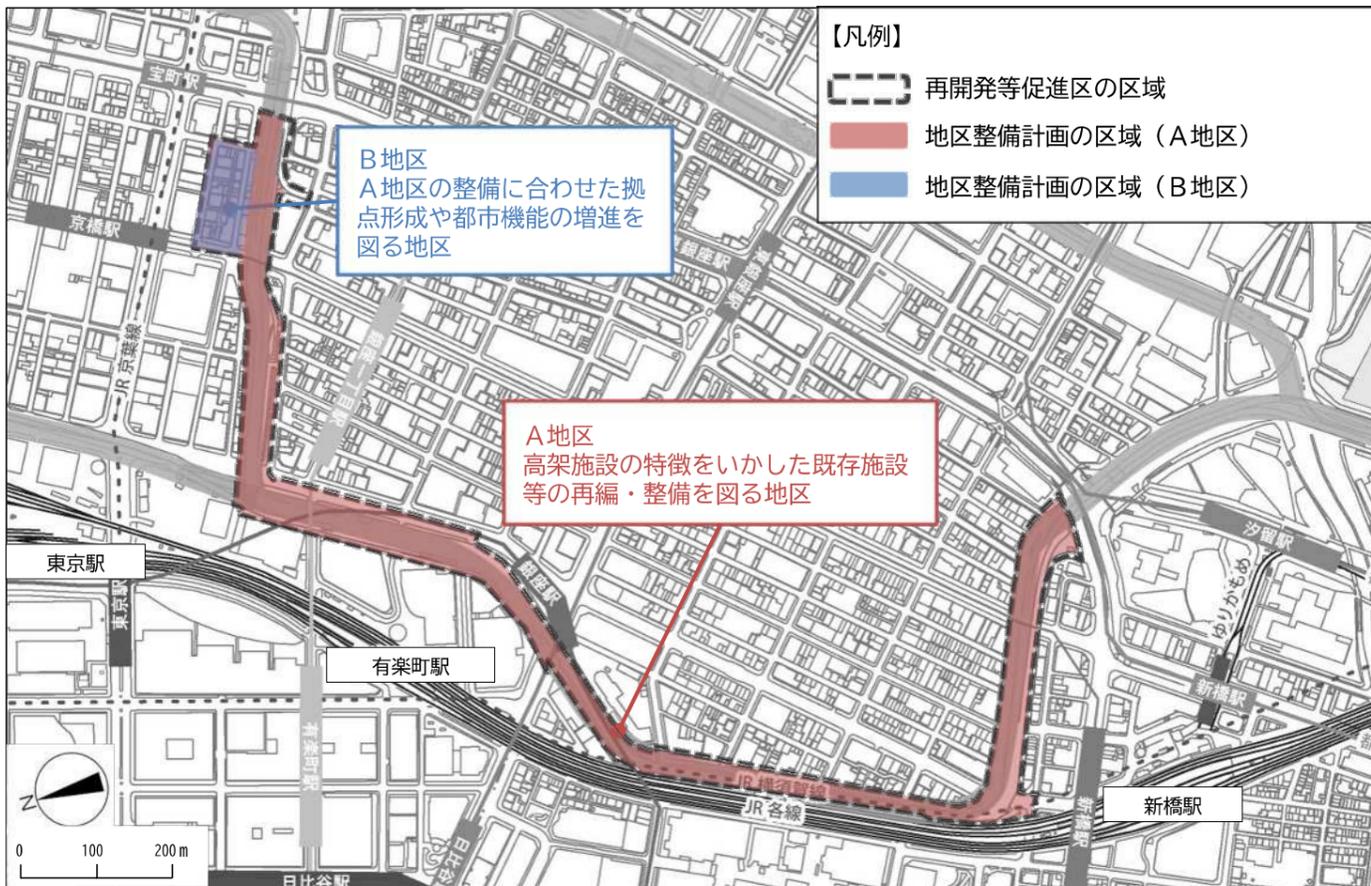
東京高速道路（以下「KK線」といいます。）は、現在、自動車専用の道路としての役割を担い、その高架道路の形態は、都心の活発な都市活動を俯瞰できるなど希少性のある空間です。その連続する約2Kmの道路は港区、千代田区、中央区の都心3区にわたって位置しています。

令和2年3月、日本橋周辺の首都高速道路の地下化に伴い新たな都心環状ルートとなる新京橋連絡路（地下）の整備案が示されました。これによりKK線は、自動車専用の道路としての役割が大きく低下することから、東京都は令和3年3月「東京高速道路（KK線）再生方針」を策定し、KK線上部空間を歩行者中心の公共的空間として再生・活用することを目指す将来像を示しました。その後、令和5年3月には「東京高速道路（KK線）再生の事業化に向けた方針」を策定し、歩行者系ネットワークや上部空間の整備内容等が示されています。

一方、令和5年1月には、本地区の地区計画（再開発等促進区を定める地区計画）により、地区計画の目標、公共施設等の整備の方針等を決定し、首都高速道路の地下化や周辺まちづくりの状況に合わせ、段階的に都市計画を進めていくこととしています。

本地区は、周辺のまちづくりとの連携を図った土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を促進し、多様な都市機能が融合する複合市街地の形成を図るとともに、KK線上部空間を主要な公共施設に位置付けることで、車中心から人中心の公共的空間としてにぎわいがあふれ、KK線上部空間（Tokyo Sky Corridor）がだれもが憩い・やすらげる広場となり、さらには緑豊かで快適な歩行者系ネットワークの形成を目指します。

【位置図】

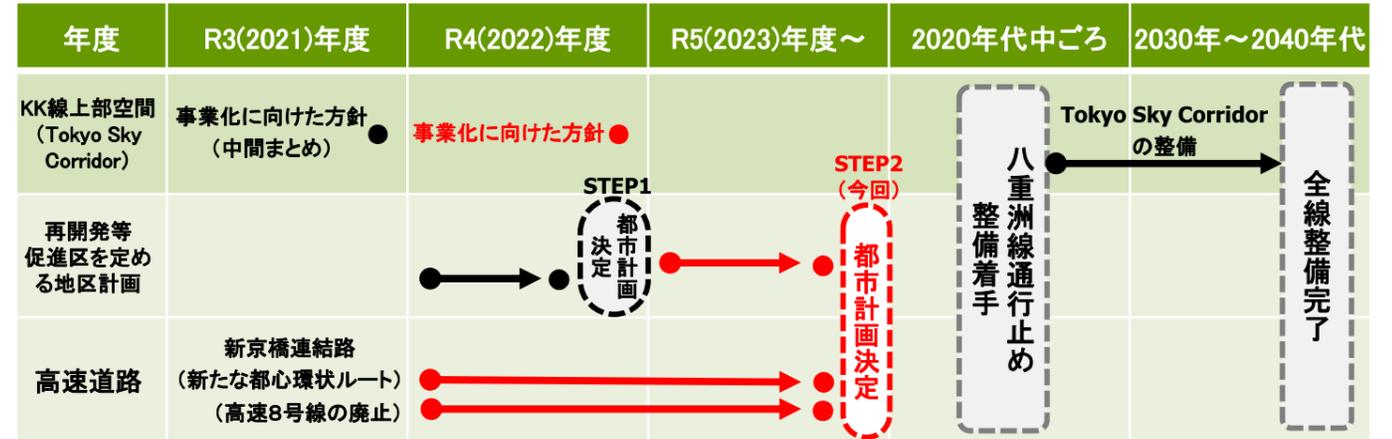


2 これまでの主な経緯

- 平成30年12月 「首都高都心環状線の交通機能確保に関する検討会」設置（国土交通省他）
- 平成31年10月 「東京高速道路（KK線）の既存施設のあり方検討会」設置（東京都）
- 令和3年3月 「東京高速道路（KK線）再生方針」の策定（東京都）
- 令和4年3月 「東京高速道路（KK線）再生の事業化に向けた方針(中間まとめ)」の策定(東京都)
- 令和5年1月 再開発等促進区を定める地区計画等都市計画決定【STEP1】
- 令和5年3月 「東京高速道路（KK線）再生の事業化に向けた方針」の策定（東京都）

3 今後のスケジュール（予定）

- 令和5年度 都市計画決定【STEP2】
 - 地区計画の変更（KK線を主要な公共施設として位置付け）
 - 都市高速道路第8号線の廃止
- 令和8年度～ 工事着手
段階的なKK線上部空間の整備、供用開始
- 2030～2040年代 KK線上部空間全区間の整備完了

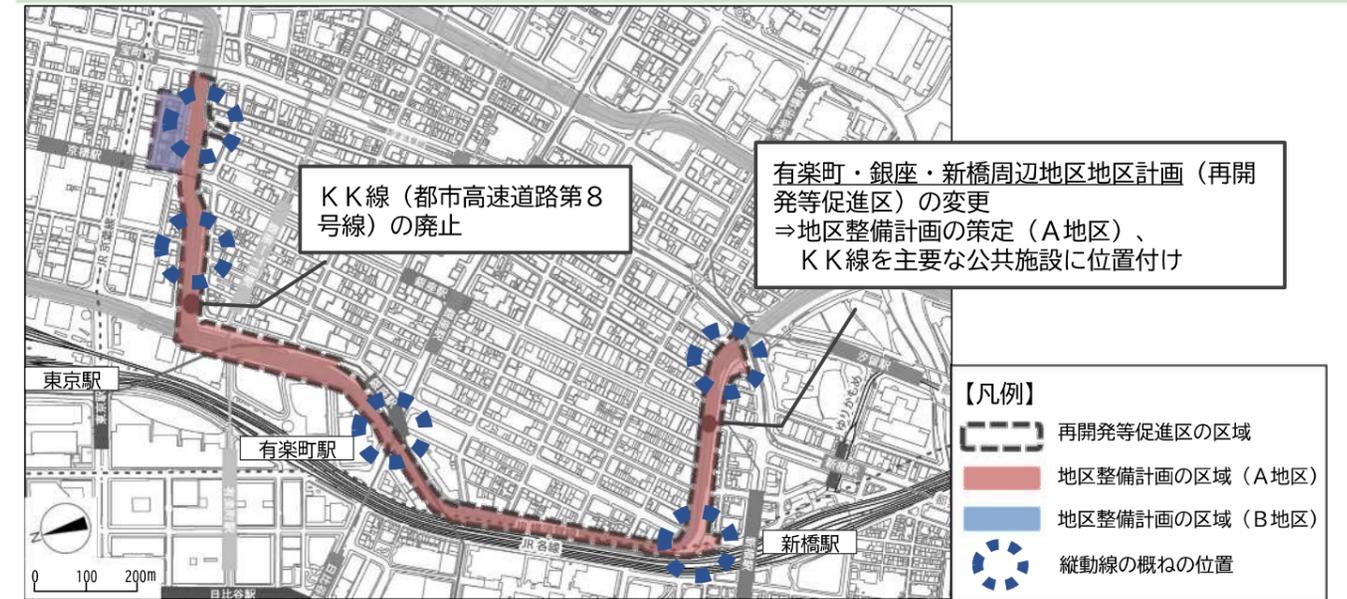


※首都高八重洲線通行止め後、KK線を廃止して、2020年代中頃に整備に着手予定です。
 ※首都高日本橋区間の地下化工事に当たっては首都高八重洲線の通行止めを前提として検討しています。

4 都市計画手続について

首都高速道路の地下化や周辺まちづくりの状況に合わせて、段階的に都市計画手続を進めます。

都市計画手続 STEP 2 (今回)



主要な公共施設の配置及び規模	種類	名称	面積	備考
	広場	広場	約30,000㎡	新設（道路上空部分、縦動線、歩行者動線を含む。）

有楽町・銀座・新橋周辺地区の街づくりについて

5 KK線の再生・活用の目標及び将来像

KK線の再生・活用の目標

東京の新たな価値や魅力を創出するため、
KK線上部空間を歩行者中心の公共的空間として再生・活用

“車中心から人中心へ” “人とみどりが共存・共栄” “地域の価値や魅力” の転換による、開放的な歩行者ネットワークの創出した高度成熟都市のシンボルとなるグリーンインフラの形成を向上させるための開放的な憩いの場の創造

- 将来像1 高架道路の形態をいかした広域的な歩行者系ネットワークの構築
- 将来像2 連続する屋外空間をいかした大規模なみどりのネットワークの構築
- 将来像3 既存ストックをいかした地域の価値や魅力の向上

出典：東京高速道路（KK線）再生方針

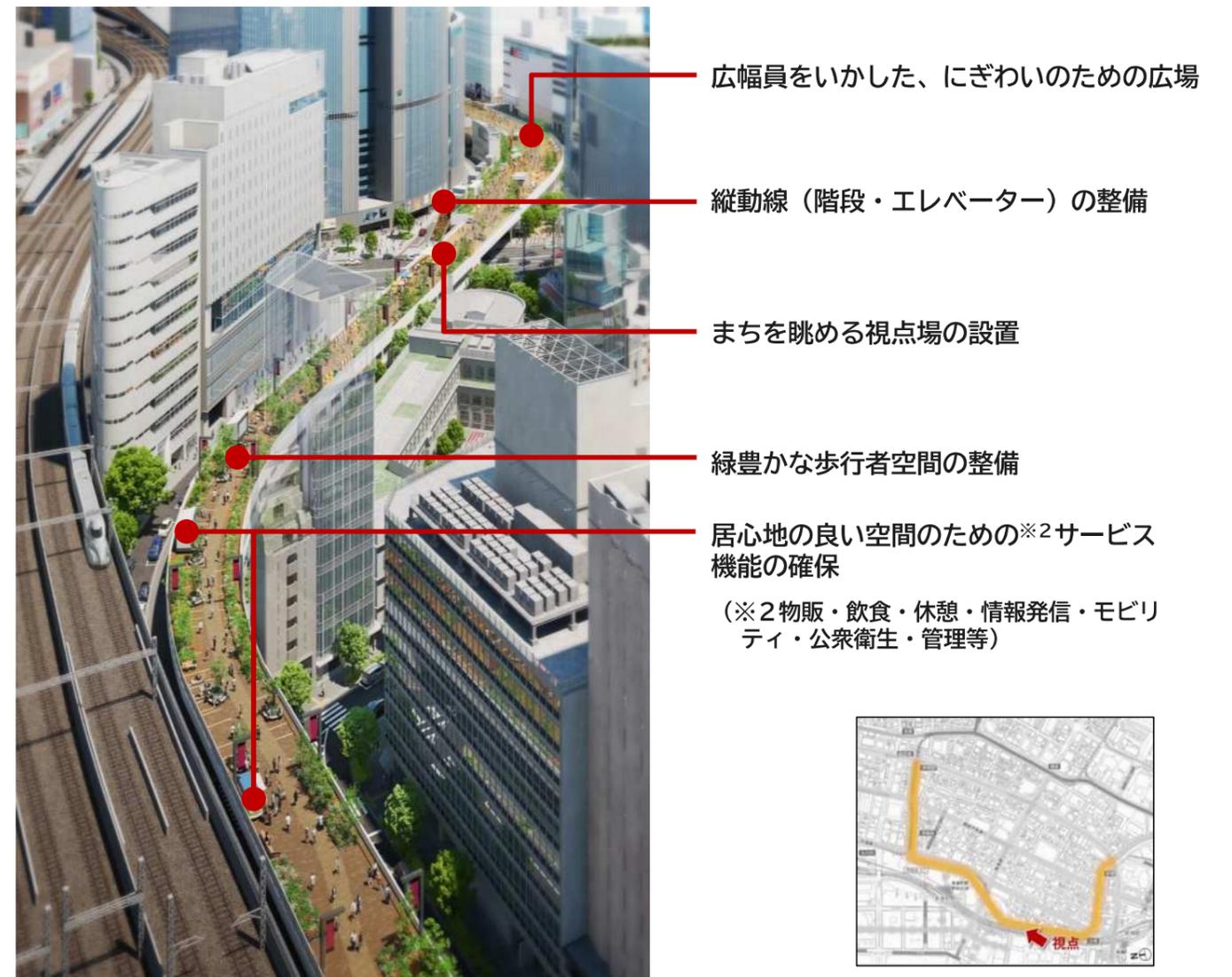
6 縦動線の整備

地上とKK線上部空間（Tokyo Sky Corridor）をつなぐ縦動線（階段及びエレベーター等）は、主要な道路や地下の歩行者空間、駅からのアクセスなどを勘案し、既存のKK線出入口（スロープ）や隣接する公共用地等に設置します。



※この地図は、国土地理院発行の基礎地図情報を使用したものである。 出典：東京高速道路（KK線）再生の事業化に向けた方針

8 上部空間の整備イメージ



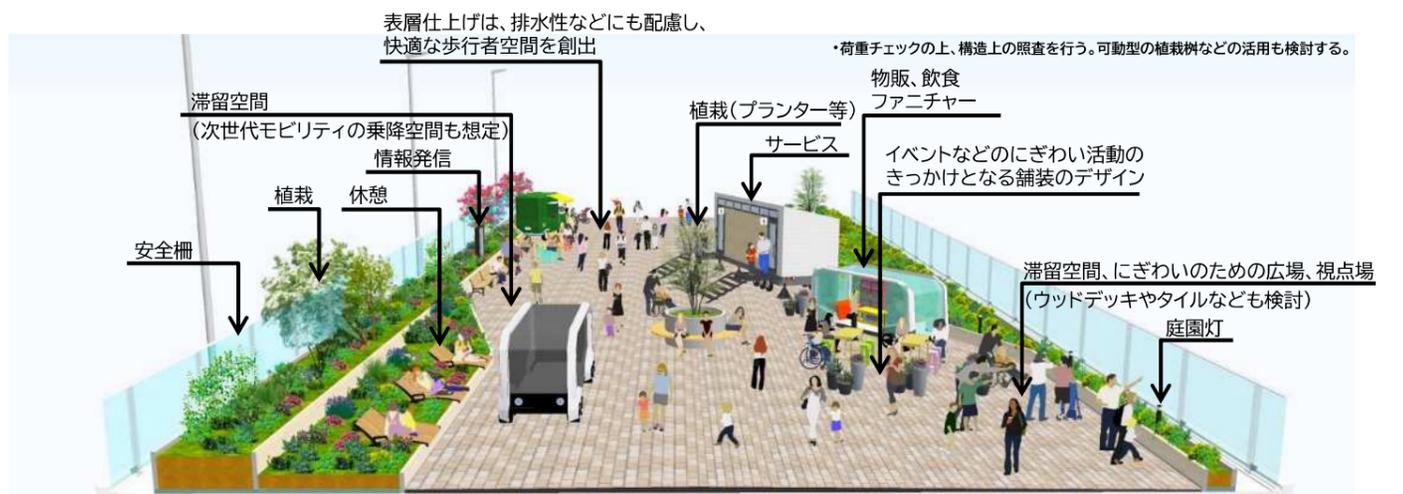
※計画中のものであり、今後変更となる可能性があります。

7 歩行者系ネットワークの形成

KK線の再生に当たっては、全長約2kmの連続性を確保するとともに、周辺開発と連携し回遊性向上にも資する歩行者空間をデッキレベルで整備します。既存のデッキ等との接続により、港区においては新橋～汐留～浜松町～芝浦などの広域的な歩行者ネットワークとなります。



整備内容の例 幅員が約16m以上の区間



出典：東京高速道路（KK線）再生の事業化に向けた方針